

【1年 社会科】

学 期	学 習 内 容	評価方法
1 学 期	<p>【地理的分野】 第1部 世界と日本の地域構成 第1章 世界の姿</p> <p>具体的には…</p> <p>○地球儀と地図をながめて2つの違いを読み取ったり目的に応じた地図の使い方を理解したりする。 ○経線と緯線のしくみを理解する。 ○国の名前と位置をたくさん知る。</p> <p>第2章 日本の姿</p> <p>具体的には…</p> <p>○世界の中で見た日本の位置を説明できる。 ○時差の計算をすることができる。 ○どこからどこまでが日本であるか理解する。(陸・海・空) ○日本の47の都道府県と県庁所在地を覚える。</p> <p>第2部 世界の様々な地域 第1章 人々の生活と環境</p> <p>具体的には…</p> <p>○世界の5つの気候帯の特色をそれぞれ説明することができる。 ○雨温図を読み取ることができる。 ○世界の人々の暮らしと気候の関係を説明することができる。 ○世界の人々の暮らしと宗教の関係を説明することができる。</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・章ごとの小テスト ・第一部 終了後の単元テスト ・国名の位置と名称のテスト ・振り返りシート (毎時間自分が分かった知識を説明する) など <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・章ごとの小テスト ・第一部 終了後の単元テスト ・振り返りシート (単元末の説明でその単元を貫く問いに対する説明をします) ・話し合い活動における記述・発言・発表の様子 など <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りシート (単元を終えて今後の学習に生かしたいことや新たな疑問を書きます。) ・小テストや単元テスト (自分が内容を理解するために学習をいかに修正できているか見ます。) ・ワークに対する取り組み方 (内容を理解するために、どのようにワークに取り組んでいるか、間違えた問題をどのように扱っているか、取り組み方を見ます。) ・話し合い活動における記述・発言・発表など (本時の問いに対して答えにたどり着くような学習の工夫をしているか。) <p style="text-align: right;">など</p>

	<p>【歴史的分野】 第1章 歴史へのとびら 具体的には… ○小学校の歴史を復習して、中学校で学習する内容の見通しを持ち、関心を高める。 ○時代や年代をいろいろな方法で表すことができる。</p> <p>第2章 古代までの日本 1節 世界の古代文明と宗教のおこり 具体的には… ○人類の出現と進化の過程を説明することができる。 ○古代文明の特徴を説明することができる。 ○三大宗教がどのようにして起こったか理解する。</p> <p>2節 日本列島の誕生と大陸の交流 具体的には… ○縄文時代の暮らしと弥生時代の暮らしを比較して、それぞれの暮らしの特色を資料から読み取ることができる。 ○古代国家がどのようにして起こり、その権力がどのようにして広がったが、大陸との関係から説明することができる。</p> <p>3節 古代国家のあゆみと東アジア世界 具体的には… ○古代の天皇を中心とした政治の様子を説明することができる。 ○大陸とのかかわりで作られた文化の特色を理解することができる。</p>	<p>【知識・技能】 ・年代の表し方の小テスト ・節ごとの小テスト（第2章） ・第2章 終了後の単元テスト ・振り返りシート など</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 ・節ごとの小テスト（第2章） ・第2章 終了後の単元テスト ・振り返りシート ・話し合い活動における記述・発言・発表の様子 など</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・振り返りシート ・小テストや単元テスト ・ワークに対する取り組み方 ・話し合い活動における記述・発言・発表など など</p>
--	---	--

<p>学 習 方 法</p>	<p>【授業の進め方とポイント】 ○ワークを使った予習をしますので、あらかじめどのようなキーワードでその時間の学習が進むか（ぼんやりでもいいので）理解してきましょう。 ○毎回問いに答える形で授業を展開します。必要な資料を教科書や資料集・地図帳などを手掛かりに読み取り、自分の言葉で説明することを意識したまとめを書きましょう。 ○振り返りシートにはその時間にわかった知識をまとめましょう。</p> <p>【家庭学習の進め方とポイント】 ○ワークの右のページを活用して応用問題を解いてみましょう。 ○間違えた問題は自学ノートを活用して、もう一度解いてみましょう。 ○授業でわかったことをその日のうちに、自学ノートにまとめても効果的です。 （その際は、図や表、挿絵などを入れたカラフルなものにすることをオススメします。） ○テストの前には対策プリントを出します。繰り返し解いて確実に理解しましょう。</p>
----------------------------	--